

史跡の現状変更許可申請書記入見本

提出部数：鑑文 1 部

添付書類は市許可の場合 1 部、国許可の場合 3 部

令和 ○○ 年 △△ 月 □□ 日

文化庁長官 殿

申請者 住 所 青森県五所川原市岩木町一丁目 1-1
氏 名 五所 太郎 (印) ※法人等の場合は名称及び代表者名

史跡 五所川原須恵器窯跡 の現状変更 (※簡潔に表記するので担当と相談して下さい) 許可申請書

例：住宅新築

文化財保護法第 1 2 5 条第 1 項の規定による許可を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

1 史跡、名勝又は天然記念物の別及び名称

五所川原須恵器窯跡

2 指定年月日

平成 1 6 年 9 月 3 0 日

3 史跡、名勝又は天然記念物の所在地

青森県五所川原市

4 所有者の氏名又は名称及び住所

五所 太郎 青森県五所川原市岩木町一丁目 1-1

※現状変更をしようとする土地の所有者名を記入、申請者と異なる場合は承諾書が必要

5 権原に基づく占有者の氏名又は名称及び住所

※民法に基づく所有者とは別の占有者がある場合のみ記入

6 管理団体がある場合は、その名称及び事務所の所在地

※該当しないので記入不要

7 管理責任者がある場合は、その氏名及び住所

※該当しないので記入不要

8 許可申請者の氏名及び住所又は名称及び代表者の氏名並びに事務所の所在地

五所 太郎 青森県五所川原市岩木町一丁目 1-1

※上の申請者と同内容を記入

9 史跡、名勝又は天然記念物の現状変更又は保存に影響を及ぼす行為（以下「現状変更等」という。）を必要とする理由 ※担当と十分協議の上記入して下さい

例：家族構成の変化に伴い自己用住宅が必要となったため。

例：既存住宅は築90年と古く、生活様式の変化に合わせた建替えが必要となったため。

10 現状変更等の内容及び実施の方法

例：住宅建替の場合 ※内容と規模（法量）を的確にご記入下さい

撤去○棟、構造（木造○階建）、建築面積○㎡、棟の高さ○m

新築○棟、構造（木造○階建）、建築面積○㎡、棟の高さ○m、屋根○色、壁○色など

掘削規模：縦○m×横○m×深さ○mなど

11 現状変更等により生ずる物件の滅失若しくはき損又は景観の変化その他現状変更等が史跡、名勝又は天然記念物に及ぼす影響に関する事項

※担当と十分協議の上記入して下さい

12 現状変更等の着手及び終了の予定時期

現状変更が許可された日～令和○○年△△月□□日

※着手時期が明確な場合はその月日を記入、終了時期は十分に余裕を持って下さい

13 現状変更等に係る地域の地番

青森県五所川原市・・・ ※今回申請する、現状変更を行いたい場所の地番を記入

14 現状変更等に係る工事その他の行為の施工者の氏名及び住所又は名称及び代表者の氏名並びに事務所の所在地 ※決まっていない場合は「未定」と記入

○○建設 代表△△ 青森県五所川原市大字□町字□□

15 その他参考となるべき事項

添付書類

- (1) 現状変更等の設計仕様書及び設計図
- (2) 現状変更等に係る地域及びこれに関連する地域の地番及び地ぼうを表示した実測図
- (3) 現状変更等に係る地域の写真
- (4) 現状変更等を必要とする理由を証するに足る資料があるときは、その資料
- (5) 許可申請者が所有者以外のものであるときは、所有者の承諾書
- (6) 許可申請者が権原に基づく占有者以外の者であるときは、その占有者の承諾書

※添付書類の詳細はダウンロードの「添付書類」を参照